

2025.10.15

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

～～今回お知らせする情報～～

- 第6回 農業分野における外国人材受入れセミナーの開催
- 関西 食の「わ」マルシェ！を開催します
- 令和7年産の水田における作付状況について
- 作物統計調査 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）
- 令和6年度食料自給率を公表します
- 最近の各種統計情報の公表について
- お知らせ済の各種説明会等

[illegible]

- 第6回 農業分野における外国人材受入れセミナーの開催

農業者や農業団体職員、市町村の外国人担当者向けに本セミナーを開催します。
第6回セミナーでは、育成就労法に係る省令等の概要や、カンボジア人材の魅力について紹介します。

【開催日時】

令和7年10月31日(金曜日)14時00分～15時20分

【議事内容】

「育成就労法に係る省令等の概要紹介」

厚生労働省海外人材育成担当参事官室 上野 格嗣 氏

「カンボジア人材の魅力紹介」

在カンボジア大使館 安藤 賢太 氏

カンボジア TS マンパワー 根津 太一 氏

「海外ジョブフェアの紹介」

一般社団法人全国農業会議所 青木昂平氏

※参加申込等詳細につきましては下記HPを参照してください。(申込期限：

10月30日(木)17時)

「農業分野における外国人の受入れについて」(農林水産省HP)

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/foreigner/index.html#seminar>

【お問合せ先】

農林水産省 経営局就農・女性課

担当者：外国人グループ(9時30分～12時、13時～18時)

代表：03-3502-8111(内線5193)ダイヤルイン：03-6744-2159

○ 関西 食の「わ」マルシェ！を開催します

近畿農政局では、関西の食や食文化の保護・継承の契機となるよう、団体や企業、個人が独自に取り組む関西の食や食文化を国内外に発信する活動を募集し、第三者の審査を経て「関西 食の「わ」プログラム」として認定しています。

今回、読売新聞大阪本社主催の「よみうりマーケット」と連携して、関西 食の「わ」プログラムに認定された企業・団体によるミニセミナー、ワークショップ、展示や関西の食の販売を行う「関西 食の「わ」マルシェ！」を開催します。

ぜひ、お立ち寄りください。

【開催日時・場所】

・令和7年10月28日(火曜日)11:00～18:00

・読売新聞大阪本社 本社ビル1階Yスクエア及びビル前

大阪市北区野崎町 5 番 9 号

【出展内容】

(1) Y スクエア

◆ ミニセミナー

テーマ：今更聞けないお箸のはなし
：大津のうなぎの魅力について
：クイズで学ぶ！京都府産の食材の魅力

◆ ワークショップ

おから味噌作り・貝殻の箸置き作り

◆ 展示

認定プログラムの活動紹介

(2) ビル前（関西の食の販売）

※詳細につきましては下記HPを参照してください。

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki_syokuhin/251014.html

【お問合せ先】

近畿農政局 経営・事業支援部 食品企業課 担当者：森、赤阪、市川

ダイヤルイン：075-414-9024

○ 令和 7 年産の水田における作付状況について

農林水産省は、令和 7 年産の水田における作付状況（令和 7 年 9 月 15 日時点）を取りまとめましたのでお知らせします。

- ・令和 7 年産の主食用米の作付面積は、令和 2 年産以来最大。
- ・増加の伸びも、主食用米の作付面積の調査を開始した平成 16 年産以来最大。

【1.令和 7 年産の主食用米及び戦略作物等の作付状況（令和 7 年 9 月 15 日時点）】

令和 7 年産の主食用米の作付面積は、前年実績（125.9 万 ha）から 10.8 万 ha（6 月末時点の作付意向から 0.4 万 ha）増加し、136.7 万 ha となりました。

また、戦略作物等の作付面積は、いずれの品目も減少するとともに、畑地化面積については、0.8 万 ha となりました。

【2.令和7年産の地域農業再生協議会別の作付状況（令和7年9月15日時点）】

※全国の詳細及び都道府県別の作付状況、地域農業再生協議会別の作付状況について等詳細については、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（農林水産省HP）

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/251010.html

【お問合せ先】

農林水産省 農産局企画課水田農業対策室 担当者：浅見、坂田、松本

代表：03-3502-8111（内線4778）ダイヤルイン：03-6744-7135

○ 作物統計調査 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）

令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量について、以下のとおり近畿の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

【調査結果の概要】

1. 近畿の令和7年産水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm、1.85mm、1.90mm）ベースの予想収穫量（主食用）は47万1,500tで、前年産に比べ2万9,500t増加と見込まれる。

これは、作付面積（主食用）が9万3,500haで前年産に比べ2,900ha増加と見込まれることに加え、9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）が504kgで前年産に比べ16kg増加と見込まれるためである。

2. 近畿の作況単収指数は104と見込まれる。

※詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/toukei/toukeikikaku/251010.html>

【お問合せ先】

近畿農政局 統計部生産流通消費統計課 担当者：藤岡、米本

ダイヤルイン：075-414-9650

○ 令和6年度食料自給率を公表します

農林水産省は、食料自給率を毎年公表しています。

【目的】

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。
我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表しています。

【令和6年度の結果】

令和6年度食料自給率は、カロリーベースで38%（前年度並み）、生産額ベースで64%（前年度＋3ポイント）、摂取熱量ベースで46%（前年度＋1ポイント）

※詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/251010.html>

【お問合せ先】

農林水産省 大臣官房政策課食料安全保障室

担当者：佐々木、京極、後藤、吉田、河合

代表：03-3502-8111（内線 3807）ダイヤルイン：03-6744-0487

○ 最近の各種統計情報の公表について

【年計調査】

- ・10月14日 作物統計調査 令和7年茶栽培面積（7月15日現在）
- ・10月10日 作物統計調査 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

※詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「統計情報」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

○ お知らせ済の各種説明会等

● 「第10回ジビエ料理コンテスト」の応募者の募集について

本コンテストは、鳥獣利活用推進支援事業において、「一般社団法人国産ジビエ認証機構」が取り組むもので、選定・表彰された料理レシピを広く紹介・提供すること

で、消費者等への普及啓発を図り、ジビエの全国的な需要拡大と鳥獣利活用の推進を図るものです。

今年度は、「一般部門」と「小・中・高校生部門」の2部門に分けて、幅広くレシピを募集します。

【募集内容及び条件】

(1)募集テーマ

国産のシカ・イノシシを使用し、多くの人のご家庭で作れて、安全でおいしく楽しめる料理

(2)応募資格

<一般部門>

プロ・アマ不問。調理を専門に履修している高校生。

<小・中・高校生部門>

小学生、中学生、高校生。チーム（1チーム3名まで、小学生、中学生のチームは親子参加も可）。

【応募の締切】

令和7年10月31日（金曜日）必着

※応募条件や応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/250806.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課 担当者：伊藤、米澤

代表：03-3502-8111（内線 5491）ダイヤルイン：03-3502-6041

- 「食と農をつなぐ朝ごはんコンテスト 2025」に係るレシピを募集します～簡単朝ごはん、毎日食べよう！～

近畿農政局及び大阪ガスネットワーク株式会社は、学生の皆様が「食」や「地元近畿の有機農産物等」に関心をもち、自ら考え作ってみることで、食に対する意識、行動の変化を促すことなどを目的に、朝ごはんレシピ（おむすびと一品料理）を募集します。

応募されたレシピは、近畿農政局のホームページ及び大阪ガスネットワーク株式会社の食育ホームページに掲載するとともに、優秀な料理に対して表彰を実施します。たくさんの学生の皆様のご参加をお待ちしております。

【募集期間】

令和7年6月26日（木曜日）～令和7年10月31日（金曜日）17時まで

【応募内容】

- ・おむすび+α（1品）の朝ごはんレシピ※
※1人分（おむすび2個と1品料理）×2
- ・近畿の有機農産物等を1つ以上使用
- ・ガスコンロ（グリル含む）使用など

【対象】

学生2名チーム
（高校生、大学生、短大生、専門学校生など）

※応募条件や応募方法等詳細については、以下のHPを参照してください。

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/250626_1.html

【お問合せ先】

近畿農政局 消費・安全部消費生活課 担当者：田村、江添、脇坂
ダイヤルイン：075-414-9771

- 「雇用就農資金」令和7年度第2回目の募集を実施します（令和7年10月事業開始分）

農林水産省では、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付しています（雇用就農資金）。

今般、令和7年10月からの事業開始を希望される方を対象として、令和7年度第2回目の募集を実施します。

【雇用就農資金の事業タイプと募集期間】

(1) 事業タイプ

○ 次世代経営者育成タイプ

農業法人等がその職員等を次世代の経営者として育成していくため、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人に派遣して実施する実践研修を支援します。（月最大10万円、最短3ヶ月～最長2年間）

(2) 募集期間

○ 次世代経営者育成タイプ（本タイプは、申請日の翌々月から事業開始となります。）

令和8年1月30日（金曜日）まで随時募集

「プレスリリース」(農林水産省HP)

農林水産省 経営局就農・女性課 担当：菅原、石川

※ 当メール情報についてのご意見・ご感想や「こんな情報を送ってほしい」などの
ご要望がございましたら、以下の地方参事官ホットラインまでお気軽にお寄せくだ
さい。

農林水産省近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

電話:075-414-9015

近畿農政局 地方参事官室（京都府担当）

〒602-8054

京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL : 0 7 5-4 1 4-9 0 1 5